

●南湖周辺地域における水路の現況調査結果報告 / 福島県県南建設事務所

南湖の周辺は急激に市街化が進んでおり、南湖の水質にも影響を与えています。福島県から雨水路と污水路の現況を踏まえた水質浄化に向けた今後の対応策が示されました。

■ 現状の課題

- 1.生活排水が用水路に混入
- 2.南湖上流の市街化により谷津田川の水質が悪化
- 3.下水処理整備済み地区の低普及率が低い

■ 水質浄化に向けた今後の対応策

- 1.生活排水と用水の分水
- 2.上流域の水質浄化への啓発活動(谷津田川流域・南湖上流域)
- 3.下水処理の普及率の向上及び下水道整備計画の促進

●水質調査の中間報告 / 日本大学工学部 長林教授

南湖の水質汚濁の実態把握、地域住民の水質保全への啓発などを目的とし、去る8月5日と9月15日に日本大学工学部長林教授の協力のもと、市民グループ、福島県、白河市の官民学の連携による水質調査が実施されました。本ワークショップでは、その中間報告と質疑応答が行われました。



～中間報告の骨子～

- ▶ COD※1、全窒素※2、全リン※2とも平成6年以降、増加の傾向にある（上流域での市街化の影響）
- ▶ 県内の他の河川や湖沼と比較しても水質は良くない
- ▶ ヨシなどの植物には水質浄化が期待できる
- ▶ 水質調査は、今後も継続的に実施していく予定

※1：湖沼における有機物質量の指標（高いと水中の酸素が消費され、魚介類に影響を与える）
※2：富栄養化に関する指標（植物プランクトンの増殖に必要）

●通行止め社会実験に関する意見交換

昨年度のワークショップにおいて、交通グループからの「南湖周辺道路の交通規制の社会実験」の提案に基づき、市道南湖線（南湖北岸道路）を対象に本格的に動き出します。

社会実験実施の是非を含め、対象区間、実施期間、調査時間帯などについて活発な意見交換が行われました。

目 的

- 将来的に、駐車場の整備なども含め、南湖北岸道路を交通規制による園内道路として利用していくため、実験的に通行止めを行います。

主な結論

- 南湖の保全という面から、実験の実施については概ね賛同が得られました。
- 実験の実施に伴う詳細事項については、検討組織を設立し、決定します。



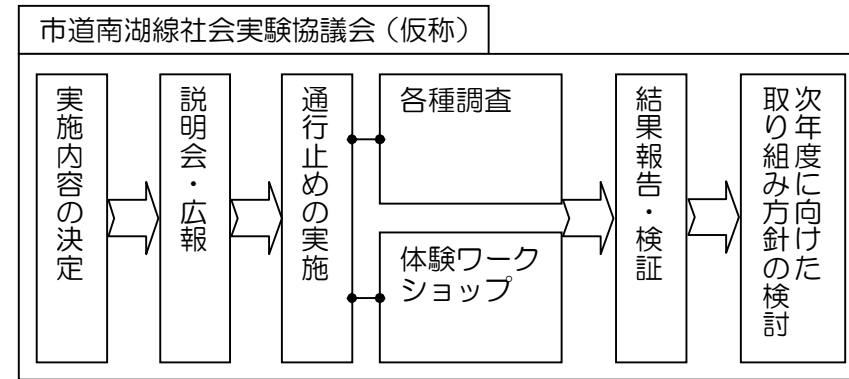
社会実験ではこんなことを行います。

- 南湖周辺道路の交通量の測定（実験前と実験中）
- 公園利用者や店舗の方々の協力による入り込み客の状況把握
- 実験期間は休日と平日で実施
- 地域住民への説明会と道路利用者への事前の周知
- 公園利用者へのアンケート

■ 社会実験って何？

新しい施策を導入する前に、あらかじめ場所と期間を限定して施策を試行し、結果を評価して本格的に導入するかどうかの判断材料を得るものです。

通行止め社会実験の実施フロー



注. 実験の実施は、行政（警察署、県、市）と地域住民で構成される協議会が主体となります。

※対象区間は事務局の案です

★みなさんの意見★

- 全 体／・目的を明確にして、進めて欲しい。成果や結果は実施に結びつけて欲しい。
- 区 間／・公園内で営業されている方が納得した上で実施して欲しい。
- その他／・実施するのならその内容の周知徹底が必要である。
- ・観光客への配慮が必要である。（駐車場が遠いと高齢者などは歩いて南湖まで来ないのではないか。）
- ・仮設駐車場が公園の東西に必要である。
- ・まず2日ぐらい実施し、その結果を踏まえてもう一度やってみてはどうか。
- ・5日間実施するべきである。

***** 通行止め社会実験体験ワークショップについて *****

この機会を活かすため、社会実験当日に現地で誰もが気軽に参加できるワークショップの企画をみんなで行いました。事務局から提案した6つの案のうち、【人のみちイベント隊】と【一周歩き隊】に多くの意見が寄せられました。

実施にあたっては、みなさんの意見を参考にして、可能であれば観光客も巻き込み、楽しく、簡単に、車のない南湖を体感できるものを検討し、改めてお知らせいたします。

くるまウオッチング隊

一周歩き隊

お店と合体隊

人のみちイベント隊

みなさんにお知らせ隊

南湖の文化祭隊

★みなさんの意見★

レンタサイクル（市の放置自転車の活用可能？）／無料シャトル馬車／身障者（車椅子）や高齢者の案内／みちに南湖の落書き／南湖一周マラソン／子どもと遊ぶ／スタンプラリー／写真コンテスト／バードウォッチング／森の案内人による木ウォッチング／水質調査／碑めぐり／匂づくり／夕方や夜間の利用は？／防犯や防災面は大丈夫？・・・

こんなイメージかな？

